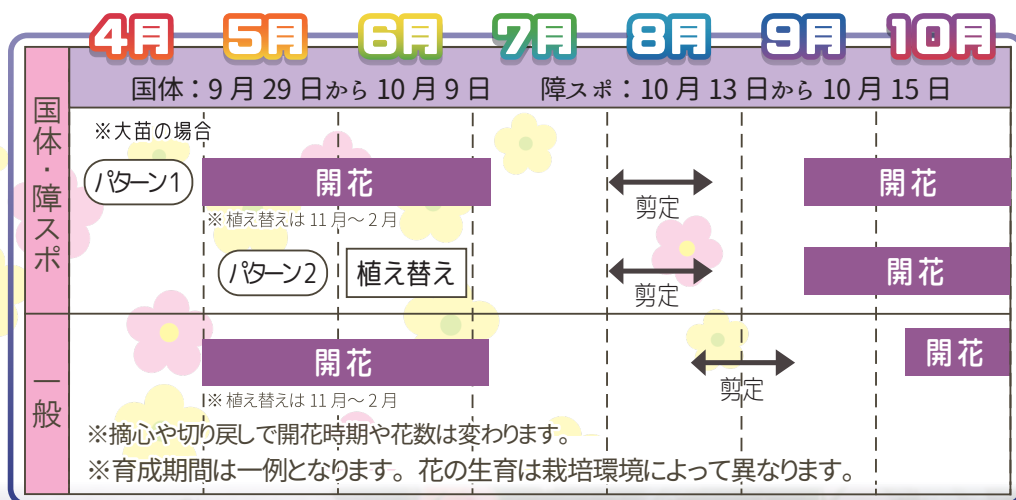




バラ



特徴

美しい花容で花色、香りが優れており、古くから園芸栽培されていることから、多くの園芸品種が存在する。観賞用が大半を占めるが、香料として用いられたり、調味料やハーブティーなど食品でも広く用いられている。樹形によって木立ち性、半つる性、つる性の3タイプに大別される。生育は上級者向けである。



原産地 — アジア
中近東
科名 — バラ科
花言葉 — 愛

播種

※大苗の場合

大苗は休眠している11月～2月あたりが植え付け時期としてはおすすですが、3月以降に購入した大苗の場合、花が一通り咲いた後の6月に植え替えしましょう。鉢で育てる場合は最低でも10号鉢（直径約30センチ）前後のものを使用するとよいでしょう。また鉢は底の深いものを使用し、底には鉢底石を敷いて水はけを良くします。地植えする場合は日当たりと風通しの良い場所を選びます。肥料がバラの根に直接触れないように注意しましょう。初心者の方は大苗を鉢に入れて育てた鉢苗を購入するのがよいでしょう。



バラによる庭の景観形成

管理

水やりは表面の土が乾いたらたっぷりしましょう。特にバラは暑さに弱いので夏場の水切れには十分注意しましょう。咲き終わった花は随時早めに摘み取るようにしましょう。バラは切戻ししてから45日～60日で次の花が咲きますので、8月中旬を目安に剪定し、国体・障スポ開催時期の10月にたくさんの花を咲かせましょう。